**《記事例》**

**ＣＣＵＳ認定登録機関として、ワイズ公共データシステム　北海道・大阪営業所が新規開設**

　登録経営状況分析機関のワイズ公共データシステム株式会社（本社：長野市）は北海道営業所、大阪営業所にて、建設キャリアアップシステム（ＣＣＵＳ）認定登録機関に登録、申請受付を開始する。

「建設キャリアアップシステム」は技能者の資格や社会保険加入状況、就業履歴等を登録・蓄積し、技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備し、将来にわたって建設業の担い手を確保することを目的としている。

２０２１年８月末時点で、事業者は約９万６千者（一人親方を除く）、技能者は約６６万人が建設キャリアアップシステムに登録されており、入札参加資格での評価や４月に改正された経営事項審査における能力評価基準も建設キャリアアップシステムが元になる等、今後の建設業者にとって必須の仕組みとなっている。

認定登録機関は建設キャリアアップシステムの登録にあたって、申請書類の受け取りや記入補助、本人情報や資格等の真正性を審査し、登録を行う機関で、インターネット申請が困難な利用者の登録申請において重要な役割を担うものとなる。